

H30 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
	311	学校教育課

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政 策	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する		
	施 策 名	1	生きる力と夢を育む学校教育の推進		
基本方針	変化の激しい社会に対応できるよう、学校教育の中で、子どもの心、能力、体をバランスよく育て、生きる力と夢の持てる教育を推進します。そのため、心の教育の充実を図りながら、たくましい児童生徒の育成と、各学校の実情に合わせた特色ある学校づくりを推進します。				
施策展開	1	心の教育の充実	4		
	2	特色ある学校づくりの推進	5		
	3	児童・生徒の健康と体力の向上	6		

【目標指標】

指 標 名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目 標	指標の説明
読書が好きな子どもの割合(%)	実績	74.1	77.2	75.3	73.5	78.4		80.0	全国学力・学習状況調査
	達成率	92.6%	96.5%	94.1%	91.9%	98.0%			
学校教育が充実していると答えた割合(%)	実績	32.1	35.5	33.2	33.7			40.0	まちづくり市民アンケート
	達成率	80.3%	88.8%	83.0%	84.3%				
	実績								
	達成率								

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	【学校教育課】全国学力・学習状況調査における「読書が好きな子どもの割合」については75%前後で推移していた。今年度、前記調査の設問が削除されたため、県の調査の結果となり、対象も小6、中3から小5、中2に変更されたが、目標数値に近づく結果となった。各校において読書活動の推奨や地域コーディネーターが図書支援員として図書室利用の工夫を進めた成果であると考えられる。市民アンケートにおいて「学校教育が充実している」と答えた割合は33%で推移しており、市が行っている各事業が定着し、一定の評価を得ていると考えられる。			構成事務事業 の 適 当 性	【学校教育課】適当である。
	施策実現に向けての課題	【学校教育課】目標値の達成のためには、更に事業を推進していく必要があるが、補助金を活用している学校支援地域本部事業において、市で行っている現在の事業内容のままでは補助事業としてみなされない可能性を示唆されている。			今後の施策の 取組・改善策	【学校教育課】学校支援地域本部事業における事業の方向性について、再検討していく必要がある。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 成果縮小
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	山形県教職員働き方改革推進事業についての効果の検証が必要。				

【施策を構成する事務事業】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H30予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H29実績値	目標値	H29決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H29実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	教育相談事業		311-101-62	学校教育課	6,188	0	5,850	高	◎	⇒	
独自		不登校傾向及び不登校である児童生徒の減少を図り、各小中学校への復帰につなげる。児童生徒の悩みや不安を解消し、学校生活や社会生活に適應できるように支援する。	教室の開設数(回)	148	130	6,055	0	6,088				
一般会計			不登校児童生徒数(人)	34	19	5,925	0	5,961				
1	02	児童生徒の個別支援事業		311-102-62	学校教育課	31,846	0	2,767	高	◎	⇒	
独自		発達障害等により、普通学級での学習に遅れがちな児童生徒を支援するため個別学習指導員を配置し、学級全体の学習活動の充実を図る。	個別学習指導員等の配置数(人)	23	20	31,440	0	2,676				
一般会計			実態に応じた個別指導体制の該当児童生徒数(人)	91	-	27,030	0	2,709				
2	01	学校支援地域本部事業		311-201-62	学校教育課	15,008	9,438	1,977	中	◎	⇒	
独自		小学校、中学校及び義務教育学校における学校図書館の整備及び機能の充実と、学校と地域の連携体制の構築を図るため、地域コーディネーターを配置し、読書好きな児童生徒を増やすとともに学力の向上を目指す。	地域コーディネーターの配置校数(校)	11	-	14,540	9,246	1,977				図書の実用性を各校に配置するために活用した補助事業である。当初は図書館整備にも活用可能であったが、ここ数年、本来の地域コーディネーターの役割を大きく求められており、今後の活用は難しくなっている。事業の方向性について早急な検討が必要となっている。
一般会計			児童生徒年間一人平均貸出冊数(%)	70	100	14,688	9,306	1,935				
2	02	教育研究所運営事業		311-202-62	学校教育課	112	0	2,451	高	◎	⇒	
独自		教育に関する調査研究、教員の研修により、教育計画の樹立と資質向上、教育実践の充実を図る。	講座・委員会数	9	9	62	0	2,451				
一般会計			講座・研修会数	34	35	109	0	2,400				
2	03	学力等検査事業		311-203-62	学校教育課	4,129	0	791	中	◎	⇒	
独自		児童生徒の学力の到達度を評価し、結果を指導法の改善に役立て、学力の伸長を図る。	学力検査実施教科数(教科)	6	6	3,818	0	791				
一般会計			標準学力検査(小学校6年・算数)の偏差値平均(偏差値)	51	55	4,052	0	774				
2	04	国際理解教育・外国語教育推進事業		311-204-62	学校教育課	19,021	0	2,846	高	◎	⇒	
独自		児童生徒の国際理解教育及び外国語教育の充実のため。	地域の外国語指導講師やALT3名の外国語等活動授業時数(h)	2,525		16,684	0	2,846				
一般会計			標準学力検査(中学校2年・英語)の偏差値平均(偏差値)	49	51	11,958	0	2,787				
2	05	学校経営指導事業		311-205-62	学校教育課	0	0	7,906	高	法定		
法定		適切な学校経営がなされるように、研修や訪問等を通して、指導を行う。	学校訪問指導日数(日)	16	22	0	0	7,906				
一般会計			—			0	0	7,741				
2	06	教育研究センター運営事業		311-206-61	教育総務課	23,477	0	79	高	法定		
法定		教職員の質・指導力の向上と児童生徒の確かな学力の定着を図る。	講座・研修会・学校訪問等実施数(回)	129	200	20,396	0	77				
一般会計			標準学力検査(中学校2年・理科)の偏差値平均(偏差値)	51	55	45,670	0	77				
3	01	学校教育体育・文化振興事業		311-301-62	学校教育課	1,975	0	395	中	◎	⇒	
独自		児童生徒が個人又は団体として、県大会を勝ち進んで東北大会以上の大会に出場する場合には出場奨励費を支給し、学校教育におけるスポーツ活動及び芸術文化活動の振興を図るため。	申請額に対する支給割合(%)	100	100	2,724	0	395				
一般会計			大会出場数の伸び率(対前年費)	204	110	1,589	0	387				
3	02	学校保健対策事業		311-302-62	学校教育課	18,824	0	4,032	高	法定		
法定		各種検診又は検査を実施し、児童生徒の健康の保持増進と学校保健の積極的な推進を図るため。	学校医・学校歯科医配置人数(人)(内科、眼科、耳鼻科、歯科)	47	45	17,455	1,177	4,111				
一般会計			児童生徒の定期健康診断受診(内科)割合	100	100	17,423	1,226	4,025				

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H30予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H29実績値	目標値	H29決算(単位:千円)			予算配分の方向性の判断要因 (↗、⇒、×の場合のみ)			
			成果指標	H29実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
						事業費	特定財源	人件費				
3	03	小中学校給食管理運営事業		311-303-62	学校教育課	78,467	0	50,757	高	法定		
	法定	児童生徒の心身の健全な発達に資すると共に、児童生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養うために学校給食における食育の推進を図る。また、安全・安心な給食を提供する。	献立検討会の開催回数(回)	11	11	78,924	0	49,697				
	一般会計		学校給食における県産・地場産食材の使用割合	45	50	79,191	0	19,697				
3	04	山形県教職員働き方改革推進事業			学校教育課	974	630	237	高	◎	↗	
	独自	部活動を担当する教員の支援を行うとともに、部活動の質的な向上を図る。	部活動指導員配置人数(人)	3	5	0	0	0	山形県では、平成30年度は県内中学校の1/2に、平成31年度においては県内全中学校に1名配置の内容で予算要求の予定としている。そのため、市内5校のうち、現在未配置の2校への配置を実施したい。(費用:国、県、市、それぞれ1/3)			
	一般会計					0	0	0				

	事業費	特定財源	人件費
H30予算(単位:千円)	200,021	10,068	80,088
H29決算(単位:千円)	192,098	10,423	79,015
H28決算(単位:千円)	207,635	10,532	48,493

	1次	2次
↗	1	1
⇒	7	7
↘	0	0
×	0	0
合計	8	8

H30 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
312	学校教育課	教育総務課
	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政 策	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する		
	施 策 名	2	地域に根ざした学校教育の充実		
基本方針	地域に密着した教育を推進するため、地域や高等教育機関等と連携しながら教育環境の充実に向けた取組を推進します。また、新庄市の特色である中学校区単位での小中連携事業を充実させながら、小中一貫教育に向けた取組を推進します。				
施策展開	1	小中一貫教育の推進	4		
	2	地域の学校づくりの推進	5		
	3	高等教育機関等との連携及び活用	6		

【目標指標】

指 標 名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目 標	指標の説明
「新庄や自分の住んでいる地域が好きだ」と答えた児童生徒の割合(%)	実績	85.5	87.3	87.2	84.4			90.0	学校評価(年度末)
	達成率	95.0%	97.0%	96.9%	93.8%				
「子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携がとれている」と答えた割合(%)	実績	33.0	32.2	31.0	32.8			40.0	まちづくり市民アンケート
	達成率	82.5%	80.5%	77.5%	82.0%				
「地域の行事に参加している」と答えた人の割合(%)	実績	67.8	75.6	76.1	76.3			83.0	全国学力・学習調査
	達成率	0.8	91.1%	91.7%	91.9%				

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	【学校教育課】数値はここ数年横ばいで推移している。市が行っている各事業が定着し、一定の評価を得ていると考えられる。		構成事務事業の 適当性	【教育総務課】小中一貫教育の推進において、施設一体型の義務教育学校の設置が最も効果的であることから、事務事業としては適当である。 【学校教育課】適当である。 【社会教育課】「山大エリアキャンパスもがみ」運営事業[フィールドワーク事業]の目的は、大学生と地域住民の交流により地域の活性化を図ることである。目的からみると「学校教育の充実」よりは、「地域活動の推進」のほうが適当であると思われる。
	施策実現に向けての課題	【教育総務課】新庄市で2校目となる義務教育学校の設置に向けては、平成29年度に設置した明倫学区義務教育学校推進計画策定委員会において計画策定の協議を行っている。小中一貫教育を通じて地域に根ざした学校づくりについては、広く市民に周知するとともに理解していただくことが重要な課題である。 【学校教育課】明倫中学区義務教育学校の開校に向けての実施計画の策定とともに、他中学校区の小中一貫教育の更なる充実が求められる。 【社会教育課】フィールドワークのプログラム終了後も地域住民と大学生が交流を図りながら継続的に持続することが課題である。		今後の施策の 取組・改善策	【教育総務課】明倫学区義務教育学校の設置、建設事業については、年間スケジュールを立てて進めることとしている。また、明倫学区義務教育学校の設置以降に設置する義務教育学校については、新庄市における小中一貫教育の在り方を含めて検討を行う。 【学校教育課】萩野学園における小中一貫教育の更なる充実を図るとともに、各中学校区ごとの小中一貫教育推進協議会において、小中一貫教育の評価検証を行う。 【社会教育課】実施状況を検証するとともに学生のニーズを把握しながら、より充実した取組につなげていく。
	成果の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 成果縮小			
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	第一次評価のとおりに。			

【施策を構成する事務事業】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H30予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H29実績値	目標値	H29決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (〇、△、×の場合のみ)			
			成果指標	H29実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	小中一貫教育推進事業		312-101-62	学校教育課	890	0	3,716	高	◎	⇒	
	独自	学校教育の様々な課題を解決するため、学力向上、生徒指導の充実、「ふるさと学習」の充実、小中教職員の協働の視点から小中連携をさらに進化させた小中一貫教育を導入する。	小小交流、小中交流、教師の乗り入れ授業等の回数	65	-	550	0	3,716				
	一般会計		友人関係、教師との関係が原因の不登校件数	9	0	2,142	0	3,561				
1	02	明倫学区義務教育学校建設事業		312-102-62	教育総務課	137,272	0	8,618	高	◎	↗	
	独自	明倫学区義務教育学校基本構想に基づき、義務教育学校建設を目指す。	明倫中学校区小中一貫教育推進協議会開催数。	4	7	60,376	0	8,618				平成31年度より工事着手を予定しており事業費が拡大する。
	一般会計		明倫学区義務教育学校の設置	0	1	0	0	0				
2	01	学校のつばさ支援事業		312-201-62	学校教育課	4,365	0	949	高	◎	⇒	
	独自	各小中学校が地域と連携しながら、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進するとともに、自主的で創造的な取組みを通して、児童生徒一人一人の主体的な活動を育み、「生きる力」の育成を図る。また、全市民を挙げて教育を見つめる気運を高めるとともに、より良い教育環境づくりを推進する。	委託先学校数(市内小中学校数)(校)	11	-	4,500	0	1,423				
	一般会計		家庭・地域を巻き込んだ研修会等への参加人数(人)	460	-	4,500	0	1,393				
3	01	「山大エリアキャンパスもがみ」運営事業[フィールドワーク事業]		312-301-63	社会教育課	278	0	1,818	中	○	⇒	
	独自	高等教育機関のない最上地域に大学の機能を誘致し、地域住民と教員・学生が交流することによって地域の活性化を図る	フィールドワーク受け入れ人数	63	70	195	0	2,214				
	一般会計		フィールドワークプログラム数	6	7	200	0	1,471				

	事業費	特定財源	人件費
H30予算(単位:千円)	142,805	0	15,101
H29決算(単位:千円)	65,621	0	15,971
H28決算(単位:千円)	6,842	0	6,425

	1次	2次
↗	1	1
⇒	3	3
↘	0	0
×	0	0
合計	4	4

H30 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
	313	教育総務課

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政策	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する		
	施策名	3	安全安心な教育環境の整備		
基本方針	子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、登下校を含めた生活全般での安全を確保します。また、安全で快適な学校施設の整備を促進します。				
施策展開	1	学校施設の整備・充実	4		
	2	登下校の安全安心の確保	5		
	3		6		

【目標指標】

指標名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目標	指標の説明
小学校区・中学校区のスクールバス等利用区域数(地域)	実績	46	73	78	79			55	教育総務課調べ
	達成率	83.6%	132.7%	141.8%	143.6%				
交通事故の発生件数(件)	実績	3	5	4	6			0	児童生徒の交通事故発生件数(学校教育課調べ)
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	実績								
	達成率								

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	【教育総務課】スクールバス等の利用区域の拡大については、計画的に進めている。			構成事務事業の 適当性	【教育総務課】安全・安心で充実した学校生活の環境整備を図るため、事業として適当である		
	施策実現に向けての課題	【教育総務課】老朽化した学校施設の改修について、今後の小中一貫教育の在り方を含め検討し、計画的に実施する必要がある。また、導入済みの教育用電子機器について、経年による劣化が見受けられ更新の必要がある。 【学校教育課】通学路等の安全面、防犯面での点検を教育総務課や警察等と連携して実施しているが、改善が図られない箇所がある。			今後の施策の 取組・改善策	【教育総務課】施設の整備等については平成30年3月に策定した「新庄市立学校施設整備計画」に基づき取り組んでいく。また、学校の電子機器の更新について、費用負担の平準化を図りながら、計画的に整備していく。 【学校教育課】市が主催する見守り隊連絡会に、市、学校、見守り隊の参加を呼びかけ、情報を共有し、連携を深めている。連絡会だけでなく、日頃からスクールガードリーダーとの連携を図り、学校や地域から不審者や声掛け事案の連絡を受けたときは、随時連絡を取り合っている。また、今年度は警察も加わり、専門的な面での指導・助言をいただく。		
	成果の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上			<input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 成果縮小	
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	第一次評価のとおり。						

【施策を構成する事務事業】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H30予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H29実績値	目標値	H29決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H29実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	学校図書館図書整備事業		313-101-61	教育総務課	6,000	0	870	中	○	⇒	
	独自	新学習指導要領が示す「言語力の育成」を目指す	蔵書数(冊)	110,052	110,565	5,999	0	852				
	一般会計		図書整備達成学校数(校)	6	11	6,001	0	852				
1	02	学校教材備品整備事業		313-102-61	教育総務課	5,760	0	870	中	○	⇒	
	独自	新学習指導要領を受けて、新たな教材整備計画を策定し、主要教科の授業時数増に対応できる教材備品の整備を図る。	1学校当りの事業費の均等割配分額(千円)	240	264	5,754	0	852				
	一般会計		1学級あたりの平均備品整備額(円)	42,938	213,500	5,718	0	2,013				
1	03	学校理科教材整備事業		313-103-61	教育総務課	1,050	525	870	中	○	⇒	
	独自	小中学校における理科の学習環境の整備を図る。	交付実施学校数(校)	3	3	1,040	520	852				
	一般会計		理科設備品現有総額(目標は国の基準額)(千円)	46,664	50,231	1,035	517	852				
1	04	情報教育推進事業		313-104-61	教育総務課	43,978	0	870	高	◎	↗	⇒
	独自	学校教育における情報教育の充実を図るため、小中学校におけるICT環境の整備を図る。	教職員1人1台の校務用PC配備の継続	322	320	47,289	0	870	経年によるPC及び電子黒板等情報機器の故障にかかる修繕や更新に経費が増加する。			
	一般会計		電子黒板の活用回数(全校年間平均回数)	416	630	43,073	0	852				
1	05	学校施設整備・管理事業		313-105-61	教育総務課	129,059	63,800	39,372	高	◎	↗	
	独自	児童生徒の安全と適切な学校経営のため、学校施設を管理・整備していく。	小中学校修繕金額(千円)	21,477	-	547,077	483,236	47,278	廃校施設の解体除却と跡地利用を進める必要があるため、また、空調整備による猛暑対策を図り、児童生徒の安全を守るため、経費が増大する。			
	一般会計		計画修繕実施率(%)	80	100	67,864	0	46,678				
2	01	通学手段確保対策事業		313-201-61	教育総務課	34,541	3,252	3,637	高	◎	⇒	
	独自	遠距離通学等となった児童・生徒に対し、スクールバス等の運行を行い、通学手段の確保を図る。また、通学以外の空き時間を利用し校外学習・大会等で活用する。	スクールバス総運行日数(日)	2,688	2,880	33,000	3,359	3,637				
	一般会計		スクールバス等通学利用者数(人)	403	400	37,411	6,112	3,561				
2	02	安全安心通学プラン推進事業		313-202-61	教育総務課	0	0	2,846	中	○	⇒	
	独自	新庄市の教育をめぐる環境変化に応じて、平成19年2月答申『「新庄っ子」の安全安心通学プラン』の実現を図る。	スクールバスその他通学用バスの配備台数(台)	14	16	0	0	2,846				
	一般会計		小学校区・中学校区のスクールバス等利用地区数	79	87	0	0	1,239				
2	03	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業		313-203-62	学校教育課	540	296	395	高	◎	⇒	
	独自	各学区及び地域が連携して子どもの安全を図るため、登下校の見守り活動や通学路の安全点検を行う。	安全指導員の見守り活動日数	50	50	542	304	395				
	一般会計		交通事故発生件数	6	0	546	328	387				

	事業費	特定財源	人件費
H30予算(単位:千円)	220,928	67,873	49,730
H29決算(単位:千円)	640,701	487,419	57,582
H28決算(単位:千円)	161,648	6,957	56,434

	1次	2次
↗	2	1
⇒	6	7
↘	0	0
×	0	0
合計	8	8

H30 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
321	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政 策	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る		
	施 策 名	1	生涯にわたる学びの推進		
基本方針	市民一人ひとりの価値観やライフスタイルが多様化する中、市民の学習ニーズに対応した多様な学習情報と学習機会の提供に努めます。また、生涯を通じて学びたいときに誰もが学べるよう、生涯学習施設の充実を図ります。				
施策展開	1	多様な学習機会の提供	4		
	2	生涯学習施設の充実	5		
	3		6		

【目標指標】

指 標 名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目 標	指標の説明
図書貸出冊数(冊)	実績	150,091	150,855	149,875	139,260			200,000	社会教育課調べ
	達成率	75.0%	75.4%	74.9%	69.6%				
生涯学習施設稼働率(%)	実績	32.6	29.7	32.8	30.5			40.0	市民プラザ、わくわく新庄、雪の里情報館の施設稼働率の平均(社会教育課調べ)
	達成率	81.5%	74.3%	82.0%	76.3%				
	実績								
	達成率								

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	図書貸出冊数については、前年度と比べて減少した。図書館の施設稼働率はやや減少し、一昨年度と同程度となった。			構成事務事業の 適当性	生涯にわたる学びの推進を図るため、適当な事業である。
	施策実現に向けての課題	各年代への事業展開を実施しながら利用者増を図る。あわせて施設ごとの課題(駐車場や屋根からの落雪等)の対策を行うことが課題である。 施設の稼働率を高めるため、各年代に適した事業展開を図っていくことが課題である。			今後の施策の 取組・改善策	各施設における課題早期解決を図ると共に、設置目的などを勘案しながら、指定管理者との連携を図り、施設ごとに特色のある事業展開を実現していく。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 成果縮小
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	市民プラザや雪の里情報館等については、利用率の低い部屋について、利用料の見直しや別な目的の使用を考えていくべき。				

【施策を構成する事務事業】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H30予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H29実績値	目標値	H29決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H29実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	国際理解推進事業		321-101-63	社会教育課	0	0	632	中	○	⇒	
独自		世界にはさまざまな民族や文化、宗教、価値観があることを理解し、多文化共生の理念を育む。	日本語教室参加(登録)者数(人)	12	20	0	0	696				
一般会計			交流事業(延)参加者数(人)	0	25	0	0	464				
2	01	市民プラザ管理事業		321-201-63	社会教育課	36,972	0	1,502	高	○	⇒	
独自		本市における生涯学習の推進及び市民の生活文化の振興並びに社会福祉の増進を図る。	施設稼働率(%)	23	40	43,853	0	949				
一般会計			自主事業の参加者数	3,215	2,000	36,990	0	1,006				
2	02	図書館管理事業		321-202-63	社会教育課	47,805	0	1,897	高	○	⇒	
独自		図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする。	貸出冊数	139,260	160,000	44,706	0	1,344				
一般会計			図書館の貸出人数	28,565	32,000	43,925	0	1,006				
2	03	雪の里情報館管理事業		321-203-63	社会教育課	22,515	0	1,502	高	○	⇒	
独自		雪害救済運動発祥の地としての業績を永く未来につたえらるとともに、雪及び雪国文化に関する学習、研究の場の提供や雪国他地域との交流などを積極的にすすめる、雪のふるさとづくりの推進を目的とする。	施設稼働率(%)	26	40	20,418	0	949				
一般会計			ギャラリー展示室の利用者数	4,809	5,000	18,570	0	1,006				
2	04	わくわく新庄管理事業		321-204-63	社会教育課	25,644	0	1,502	高	○	⇒	
独自		本市における生涯学習の推進及び市民の生活文化の振興並びに社会福祉の増進を図る。	施設稼働率(%)	47	40	17,337	0	949				
一般会計			自主事業の参加者数	6,552	5,000	17,550	0	1,006				

	事業費	特定財源	人件費
H30予算(単位:千円)	132,936	0	7,035
H29決算(単位:千円)	126,314	0	4,887
H28決算(単位:千円)	117,035	0	4,488

	1次	2次
△	0	0
⇒	5	5
◇	0	0
×	0	0
合計	5	5

H30 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
	322	社会教育課

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政 策	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る		
	施 策 名	2	活力みなぎる地域活動の推進		
基本方針	市民が地域において主体的に活動するための学びを支援するとともに、活動拠点の環境整備を進め、地域を支える人材の育成を図ります。				
施策展開	1	地域における活動の環境整備	4		
	2	地域を支える人材の育成	5		
	3		6		

【目標指標】

指 標 名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目 標	指標の説明
市民活動に対する支援が充実していると答えた割合(%)	実績	16.0	14.1	14.6	15.4			20.0	まちづくり市民アンケート
	達成率	80.0%	70.5%	73.0%	77.0%				
地域公民館の整備件数(件)	実績	6.0	7	6	4	7		10	社会教育課調べ
	達成率	60.0%	70.0%	60.0%	40.0%	70.0%			
	実績								
	達成率								

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	【総合政策課】地域づくりの機運向上を図っていく必要がある。 【社会教育課】地域公民館の整備件数は減少傾向にあったが、平成30年度においては増加している。			構成事務事業 の 適 当 性	【総合政策課】施策の構成事業として妥当である。 【社会教育課】地域活動や地域を支える人材育成の推進を図るため、施策の活動としては各事業とも適当である。
	施策実現に向けての課題	【総合政策課】地域づくりの担い手の育成。 【社会教育課】地域公民館について、修繕等に対する補助金の増額の要望が増えている。			今後の施策の 取組・改善策	【総合政策課】今後の地域の担い手を講座を通して育成し、地域づくりの機運向上につなげる。 【社会教育課】地域活動の拠点施設である地域公民館への補助を充実させる。各事業を通して担い手づくりを行い地域に活かせる環境づくりを進めていく。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 成果縮小
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	第一次評価のとおり。				

【施策を構成する事務事業】

施策展開	事業番号	事務事業名			事務事業コード	担当課	H30予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
		事業区分	目的	活動指標			H29実績値	目標値	事業費			特定財源	人件費
会計	成果指標				H29実績値	目標値			H29決算(単位:千円)			予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)	
		事業費	特定財源	人件費									
1	01	地区公民館管理事業			322-101-63	社会教育課	16,178	288	1,897	中	◎	↗	
独自	生涯学習の場としての施設環境を管理整備し、市民が利用しやすいようにする。	利用団体数(件)	710	1,000	11,100	260	1,344	八向地区公民館の整備の実施のため					
一般会計		利用者数(人)	15,696	18,000	17,399	305	929						
1	02	地域公民館整備助成事業			322-102-63	社会教育課	1,500	0	632	中	○	⇒	
独自	地域活動の拠点となる公民館の新築、改築、土地購入及び改修などへの補助を行い、地域の社会教育活動の推進を図る。	事業周知回数(回)	2	2	1,413	0	632						
一般会計		助成町内件数(件)	4	10	2,133	0	619						
2	01	青少年育成推進員設置事業			322-201-63	社会教育課	120	50	2,609	高	○	⇒	
独自	青少年育成市民会議との連携及び活動推進、青少年の非行防止及び青少年に有害な環境の浄化など、各種活動を通して、地域における青少年の育成指導並びに青少年健全育成運動を推進することを目的とする。	児童参加型事業の回数(回)	3	5	100	50	3,795						
一般会計		活動回数(回)	17	25	100	50	1,393						
2	02	新庄市青少年育成市民会議事業			322-202-63	社会教育課	1,402	1,402	1,423	中	○	⇒	
独自	次代を担う青少年の健全な育成を図るため、青少年を取り巻く家庭、学校、地域、行政等が相互に連携し環境づくりを進める。	事業の実施回数(回)	23	22	1,422	1,422	2,609						
一般会計		事業の参加者数(人)	1,085	1,360	1,384	1,384	1,780						
2	03	成人式開催事業			322-203-63	社会教育課	111	0	1,936	中	○	⇒	
独自	式典の開催により、新成人になったことを祝い、自覚を促し、地域を支える人材の育成を目的としている。	式の開催	1	1	55	0	1,935						
一般会計		成人式参加率(%)	70	75	62	0	1,161						
2	04	高校生ボランティア体験事業			322-204-63	社会教育課	248	0	2,609	高	◎	⇒	
独自	高校生を中心とした青少年にとってボランティア活動は豊かな学びの場であり、将来的に地域で活動する人材の育成にもつなげる。	ボランティア活動を行った回数(回)	76	40	186	0	3,400						
一般会計		しずく登録者数(人)	37	35	140	0	2,167						
2	05	市民活動支援事業			322-205-63	社会教育課	0	0	1,936	中	○	⇒	
独自	地域社会の課題解決や発展のために市民活動団体が行う様々な活動を支援し、地域を支える人材・団体の育成を行う。	ぶらっと利用者数(人)	1,572	3,200	0	0	1,935						
一般会計		市民活動に対する支援が充実していると答えた割合(%)	15	20	4,844	1,020	1,316						
2	07	地域リーダー育成事業			322-207-12	総合政策課	145	0	3,795	高	◎	⇒	
独自	地域づくりに関わる課題や現状認識を共有しながら、課題解決策を見出し、その実施に向けて計画を練っていくというワークショップや講演会等の取組みを通し、これから地域づくりを担うリーダーを育成する。	平均参加者数(人)	21	40	145	0	3,795						
一般会計		講座で学んだことを地域づくりに活かしている割合(%)	100	100	109	0	3,871						

	事業費	特定財源	人件費
H30予算(単位:千円)	19,704	1,740	16,837
H29決算(単位:千円)	14,421	1,732	19,445
H28決算(単位:千円)	26,171	2,759	13,236

	1次	2次
↗	1	1
⇒	7	7
↘	0	0
×	0	0
合計	8	8

H30 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
323	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政策	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る		
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興		
基本方針	伝統文化の継承や文化財の保護を通して、ふるさとの歴史や文化に対する理解を深めることにより郷土愛を育みます。また、文化芸術の鑑賞や創作等に関わる機会を提供することにより、感性豊かな人材の育成に努めます。				
施策展開	1	伝統文化の継承とふるさと意識の醸成	4		
	2	創造的文化芸術活動の推進	5		
	3		6		

【目標指標】

指標名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目標	指標の説明
新庄市芸術祭参加者数(人)	実績	1,445	1,089	1,112	1,089			2,000	社会教育課調べ
	達成率	72.3%	54.5%	55.6%	54.5%				
新庄市文化団体会議加入団体数	実績	36	35	34	34			35	社会教育課調べ
	達成率	102.9%	100.0%	97.1%	97.1%				
ふるさと歴史センターの来場者数(人)	実績	14,603	12,433	13,143	13,591			15,000	社会教育課調べ
	達成率	97.4%	82.9%	87.6%	90.6%				

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	歴史センターの来場者数が増加している。平成28年12月に「新庄まつりの山車行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことにより、来場者数については、今後も増加傾向にある。			構成事務事業の 適当性	施策の実現に向け、実施している事務事業は適当である。
	施策実現に向けての課題	経年劣化した文化財の修理が必要。増加が予想される歴史センターの来場者への対応が必要。			今後の施策の 取組・改善策	多様なイベントの企画、事業の充実などを図ることにより、入場者、参加者を増やしていく、必要がある。 文化財の修理は年次計画を基に実施する。ふるさと歴史センターにおいては、多様なイベントの企画、事業の充実を図り、更なる来場者増を目指す。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 成果縮小
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	第一次評価のとおり。				

【施策を構成する事務事業】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H30予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H29実績値	目標値	H29決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H29実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	ふるさと歴史センター事業		323-101-63	社会教育課	5,699	0	3,716	中	○	⇒	
独自		生涯学習機会の提供と、新庄市のまつり・郷土の考古・歴史・民俗・芸術文化の伝承と公開を通して文化芸術の振興を図る。また、観光振興も図る。	企画展等事業数(件)	10	9	4,302	0	3,795				
一般会計			事業期間中の入館者数(人)	13,591	15,000	5,139	0	3,716				
1	02	ふるさと歴史センター管理事業		323-102-63	社会教育課	36,944	0	3,004	中	○	⇒	◇
独自		施設の維持管理	開館日数(日)	308	-	21,952	3,193	2,925				
一般会計			入館者数(人)	13,591	15,000	23,664	3,354	2,864				
1	03	重文旧矢作家住宅管理事業		323-103-63	社会教育課	2,707	0	1,344	中	○	△	⇒
独自		優れた文化遺産を後世へ残す。	公開日数	209	-	3,353	247	1,344				
一般会計			旧矢作家住宅の見学者数(人)	1,174	1,600	1,908	0	1,626				
1	04	ふるさと歴史センター資料収集、保存、調査研究事業		323-104-63	社会教育課	1,575	0	712	中	○	⇒	
独自		収集資料の適切な保存管理・調査研究	収蔵資料整理従事者数(人)	94	-	1,452	0	712				
一般会計			資料整理・データ化件数	976	1,400	1,438	0	1,703				
1	05	民話普及事業		323-105-63	社会教育課	453	300	1,344	中	○	⇒	
独自		先人の知恵の結集ともいえる民話を通して、地域の自然・歴史・文化を守り、伝承していく。	語り実践学校(校)	4	5	426	300	1,344				
一般会計			語りの日観客数(人)	335	650	429	300	1,703				
1	06	文化財保護管理事業		323-106-63	社会教育課	24,420	17,975	3,321	中	○	⇒	
独自		優れた文化遺産を後世へ残す。	市文化財保護審議会の開催回数(回)	1	1	44,189	18,737	3,321				
一般会計			国の文化財(戸沢家墓所、八幡神社)への見学者数(人)	45,000	47,000	7,021	0	2,555				
1	07	新庄亀綾織伝承協会支援事業		131-107-63	社会教育課	3,000	0	395	中	○	⇒	
独自		市の伝統的な工芸品である「亀綾織」の振興及び後世への伝承を図る。	機織り体験教室開店日数(日)	308	300	3,000	0	395				
一般会計			新庄亀綾織伝承協会会員数	6	5	500	0	619				
1	08	国・県指定文化財管理費補助金		323-108-63	社会教育課	581	0	395	中	○	⇒	
独自		優れた文化遺産を後世に残すために、国や県から指定された文化財の維持管理費の一部を助成する。	支援文化財数(件)	2	3	418	0	474				
一般会計			維持管理された文化財数(件)	2	3	630	0	697				
1	09	国文化財指定登録事業		323-109-63	社会教育課	0	0	158	低	▲	⇒	
独自		優れた文化遺産を後世に残していくこと。	調査活動数及び例会開催数(回)	0	2	0	0	237				
一般会計			国の文化財指定・登録数(件)	0	1	0	0	1,084				
2	01	市民文化会館管理事業		323-201-63	社会教育課	44,276	0	1,502	高	○	⇒	
独自		市民の文化芸術振興を目的としている。	施設稼働率(%)	39	40	70,164	0	949				
一般会計			自主事業の入場者数	2,930	6,500	55,709	0	1,006				

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H30予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H29実績値	目標値	H29決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H29実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
						事業費	特定財源	人件費				
2	02	子ども芸術学校事業		323-202-63	社会教育課	800	0	1,818	中	○	⇒	
独自	子どもたちに表現活動の楽しさを体験させ、文化芸術に親しむ素地を培う場となることを目的とする。		延べ開催学習回数(回)	90	140	800	0	1,423				
一般会計			受講者数(人)	60	50	800	0	1,393				
2	03	山形県総合美術展覧会巡回展		323-203-63	社会教育課	562	0	237	中	○	⇒	
独自	市民が文化芸術活動に参加できる機会をつくり、自主的な活動を支援し、豊かな心の育成を図る。		展示作品数(点)	403	250	562	0	237				
一般会計			入場者数(人)	2,016	1,600	562	0	232				

	事業費	特定財源	人件費
H30予算(単位:千円)	121,017	18,275	17,946
H29決算(単位:千円)	150,618	22,477	17,156
H28決算(単位:千円)	97,800	3,654	19,198

	1次	2次
↗	1	0
⇒	11	11
↘	0	1
×	0	0
合計	12	12

H30 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
331	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政策	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する		
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興		
基本方針	市民一人ひとりが日常生活の中で目的や志向に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しめる社会を実現するため、ニーズに応じたスポーツイベントの開催や、スポーツプログラムの提供を行い、健康で豊かな生活が送れる環境をつくります。さらに、適切な施設運営、整備を進め、誰もがスポーツに親しめる環境の整備を図ります。				
施策展開	1	多様なスポーツ機会の提供	4		
	2	総合型地域スポーツクラブの充実	5		
	3	スポーツ施設の充実	6		

【目標指標】

指標名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目標	指標の説明
総合型地域スポーツクラブ会員数(人)	実績	407	374	322	291			450	かむてんスポーツクラブ調べ
	達成率	90.4%	83.1%	71.6%	64.7%				
市民参加型スポーツイベント参加者数(人)	実績	3,623	3,386	3,112	3,527			4,300	社会教育課調べ ※H28までいものこマラソン参加者含む。H29からはいものこハーフマラソン参加者を含める。
	達成率	84.3%	78.7%	72.4%	82.0%				
スポーツ施設の使用者数(人)	実績	139,722	118,038	134,028	134,605			155,000	社会教育課調べ
	達成率	90.1%	76.2%	86.5%	86.8%				

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	総合型地域スポーツクラブは種目コース数も変わらず、会員の高齢化が進む中、新規会員は増えていない状況にある。 新たなスポーツイベントとして新庄いものこハーフマラソン大会が開催され、市内外より多くの参加があった。 スポーツ施設の使用者数については、大規模改修事業が平成28年度で一旦終了したため、例年通りの使用者数に戻ってきている。また、リニューアルした施設では使用者数も伸びてきている。			構成事務事業の 適当性	実施している事務事業は施策の実現に必要なものである。
	施策実現に向けての課題	地域の生涯スポーツ活動の核となる地域総合型スポーツクラブについては、会場使用料の減免措置等、自主自立につながるサポート等を継続しているが、新たな事業展開を図るような事務局体制とはなっていない。 新たなスポーツイベントとして、ハーフマラソン大会が加わったが、その他イベントについては、市以外が事務局の場合もあり、改善を図るための協議検討も含め、連携が弱い。 市体育施設の多くが大規模な改修を終えているが、古くなった設備や備品の交等、管理上必要かつ、利用者の利便性の向上を図ることが課題。			今後の施策の 取組・改善策	総合型スポーツクラブといった関係団体や市体育協会等関係機関の安定した運営のサポートにあたりながら、連携等を図り、参加者ニーズや市の施策にあった新規事業の企画運営や既存事業の内容・手法の見直しを図る。 また、ハーフマラソン大会等、スポーツを通じた地域活性化に資する取組みについては、ボランティア等、「支えるスポーツ」についても力を入れ、市民総参加の仕組みづくり、体制づくりに努めていく。
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 成果縮小
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	山屋セミナーハウスについては、全体的な機能強化を考えていくべき。				

【施策を構成する事務事業】

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H30予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H29実績値	目標値	H29決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (△、◇、×の場合のみ)			
			成果指標	H29実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
1	01	市民参加型スポーツイベント開催事業		331-101-64	社会教育課	30	0	949	高	○	⇒	
独自		夢と感動を与えスポーツの振興を図る。	大会実施回数(回)	4	2	30	0	1,186				
一般会計			クリテリウム・スポーツクリエイション祭・ゴルフ・市総体・地域スポーツクラブ参加者数(人)	2,843	4,300	30	0	2,322				
1	02	新庄ハーフマラソン大会開催事業		331-102-64	社会教育課	11,000	3,800	6,641	高	◎	↗	⇒
独自		小学生からシニアまで誰もが気軽に参加できるマラソン大会の開催を通じ、幅広い年齢層の健康増進及び体力の向上を図る。また、参加者の交流を通じた街中の賑わい創出をもつて観光振興と地域の活性化を期待する。	運営スタッフ数(人)	326	1,500	10,562	2,362	7,511	安心・安全な大会運営に必要な警備、輸送等の充実に加え、今後は、より街中の賑わい創出につながる付属イベントの開催等、地域の活性化策として今後の取組みの充実が望まれる。			
一般会計			大会参加者数(人)	684	1,500	0	0	0				
1	03	(一財)新庄市体育協会運営費補助金		331-103-64	社会教育課	10,962	0	395	高	◎	⇒	
独自		市におけるスポーツを振興し、市民の体力向上とスポーツ意識の高揚を図る。	加盟団体数(団体)	22	22	14,472	0	632				
一般会計			体育表彰者数(個人・団体)(件)	87	70	14,343	0	619				
1	04	新庄市総合体育大会委託事業		331-104-64	社会教育課	848	0	395	高	○	⇒	
独自		市民の体力と競技力の向上を目指し、各競技のスポーツ振興を目的とする。	大会種目数(種目)	16	17	848	0	632				
一般会計			大会参加者数(人)	1,974	2,500	848	0	619				
2	01	総合型地域スポーツクラブ育成事業		331-201-64	社会教育課	0	0	712	高	○	⇒	
独自		市民がスポーツ活動に参加する場を提供する。	かむてんSC短期教室の参加者数(人)	10	100	0	0	791				
一般会計			かむてんSCの年度末会員数(人)	291	450	0	0	1,161				
3	01	市体育館管理運営事業		331-301-64	社会教育課	18,813	0	712	高	○	⇒	
独自		スポーツを行う場を市民に提供し、競技スポーツ力の向上、市民の健康増進など地域のスポーツ振興を図る。	利用団体数	1,483	2,000	19,893	3,493	791				
一般会計			利用者数(人)	46,468	55,000	19,065	0	697				
3	02	市民スキー場管理事業		331-302-64	社会教育課	27,352	0	712	高	○	⇒	
独自		市民一人ひとりが楽しめる、親しめるスポーツライフの実現を図る。	開場日数(日)	70	65	27,007	4,360	791				
一般会計			利用人数(人)	9,857	15,000	27,046	3,511	852				
3	03	市民球場管理事業		331-303-64	社会教育課	23,579	0	712	高	○	⇒	
独自		一人一人に応じた夢と感動あるスポーツライフを実現する。	開場日数(日)	359	342	21,783	2,599	791				
一般会計			利用人数(人)	25,584	37,000	21,646	2,656	697				
3	04	武道館管理事業		331-304-64	社会教育課	4,577	0	632	高	○	⇒	
独自		誰もが生涯にわたり、スポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。	開館日数(日)	347	343	4,830	1,229	791				
一般会計			利用人数(人)	12,646	16,000	4,581	990	697				
3	06	市民プール管理運営事業		331-306-64	社会教育課	3,512	0	632	高	○	⇒	
独自		誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。	開場日数(日)	36	40	3,531	444	791				
一般会計			総利用人数(人)	3,752	7,000	3,525	702	852				

施策展開	事業番号	事務事業名		事務事業コード	担当課	H30予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
						事業費	特定財源	人件費			(1次評価)	(2次評価)
事業区分	会計	目的	活動指標	H29実績値	目標値	H29決算(単位:千円)			(1次評価) 予算配分の方向性の判断要因 (↗、↘、×の場合のみ)			
			成果指標	H29実績値	目標値	事業費	特定財源	人件費				
3	07	その他体育施設管理運営事業		331-307-64	社会教育課	10,756	0	712	高	○	⇒	
独自		テニス・ソフトボール・陸上競技などの競技スポーツの向上と幅広い年代の健康増進を目的とする。	開場日数(日)	235	214	9,896	2,686	712				
一般会計			利用者数(人)	33,066	40,000	5,304	2,614	697				
3	08	市体育施設整備事業(全体)		331-308-64	社会教育課	30,088	0	791	高	◎	↗	⇒
独自		誰もが生涯にわたり、スポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。	修繕・工事実施箇所数(箇所)	29	40	30,586	0	870	施設の安心・安全な管理運営を図るため、老朽化に伴う計画的かつ継続性のある修繕や突発的な故障・事故等に対する柔軟な対応が求められる。			
一般会計			全施設利用者総数(人)	134,605	155,000	500,138	0	2,167				
3	09	山屋セミナーハウス管理事業		331-309-64	社会教育課	10,387	0	1,581	高	◎	↗	⇒
独自		競技スポーツの向上、強化を行う際の拠点となる宿泊施設を目指す。	開場日数(日)	360	349	10,309	1,734	1,818	唯一、合宿等に対応できる宿泊機能を持ち合わせた施設であり、今後も機能強化が望まれる。			
一般会計			利用者数(人)	13,089	18,000	10,280	1,788	1,239				
3	10	ホスタウン推進事業		331-309-64	社会教育課	589	500	2,055	高	◎	↗	⇒
独自		2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会開催に向け、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る。	相手国(数)		1	0	0	0	オリンピック・パラリンピック開催後の事業展開(インバウンド・ジュニアスリートの交流)が望まれる。			
一般会計			事業数(回)		1	0	0	0				

	事業費	特定財源	人件費
H30予算(単位:千円)	152,493	4,300	17,631
H29決算(単位:千円)	153,747	18,907	18,107
H28決算(単位:千円)	606,806	12,261	12,619

	1次	2次
↗	4	0
⇒	10	14
↘	0	0
×	0	0
合計	14	14

H30 実施

施策評価

施策コード	担当課名	
332	社会教育課	

【施策の概要】

施策体系	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち		
	政策	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する		
	施策名	2	新たな活力を生み出す競技スポーツの振興		
基本方針	トップレベルの大会で地元選手が活躍することは、応援する市民の活力となり、地域の活性化にもつながります。関係団体との連携強化により、選手や指導者の育成を図るとともに、全国規模の試合の誘致に努め、競技力の向上を図ります。				
施策展開	1	選手の確保・育成	4		
	2	指導者の育成・支援	5		
	3		6		

【目標指標】

指標名		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32 目標	指標の説明
新庄市体育表彰者数(個人・団体)(組)	実績	65	78	59	65			70	東北・全国大会に出場又は県大会に優勝し、新庄市体育表彰基準に基づき表彰された個人・団体数(社会教育課調べ)
	達成率	92.9%	111.4%	84.3%	92.9%				
日本体育協会公認スポーツ指導者数(人)指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチ・ジュニアスポーツ指導員・スポーツリーダー	実績	47	47	41	42			50	山形県体育協会調べ
	達成率	94.0%	94.0%	82.0%	84.0%				
	実績								
	達成率								

【分析・評価】

第一次評価 (担当課)	目標指標分析	市体育表彰者数については目標値に近づきつつある(H27は目標値を達成)が、公認のスポーツ指導者数については、目標値の達成には遠く、指導者の育成が進んでいない状況にある。			構成事務事業の 適当性	既存事業の中から、当該施策の実現に必要な事業として構成するとすれば適当であるが、競技性に偏りがあるほか、競技スポーツを主とした指導者の育成に資する事務事業が乏しい。		
	施策実現に向けての課題	競技スポーツは種目数も多く、指導者の育成については、各競技団体に任せているのが現状である。どのような考え・手法により強化を図っていくか、市として考え方が定まっていない。			今後の施策の 取組・改善策	市として、種目や強化の期間等、市としてある程度の計画性を持って具体的に取組んでいくことが望まれる。指導者の資格取得や更新による安定した指導者の育成と部活動等、教育機関への指導者派遣につなげられるような仕組みづくりについて検討すべきである。		
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 成果向上		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 成果縮小		
第二次評価 (第二次評価会議)	総合評価	第一次評価のとおり。						

【施策を構成する事務事業】

施策展開	事業番号	事務事業名			事務事業コード	担当課	H30予算(単位:千円)			施策への貢献度	事業実施優先度	予算配分の方向性	
		事業区分	目的	活動指標			H29実績値	目標値	事業費			特定財源	人件費
会計	成果指標				H29実績値	目標値			H29決算(単位:千円)			予算配分の方向性の判断要因 (◇、▽、×の場合のみ)	
		事業費	特定財源	人件費									
1	01	山形県縦断駅伝競走大会新庄・最上チーム強化事業			332-101-64	社会教育課	8,960	5,912	4,190	高	◎	⇒	
独自	山形県縦断駅伝競走大会において、上位入賞を果たし、市民に勇気と感動を与える。		強化練習(合宿)回数(回)	3	5	6,120	4,025	5,376	予算配分の方向性の判断要因 (1次評価)				
一般会計	山形県縦断駅伝競走大会のチーム順位			8	3	8,732	5,836	3,561					
1	02	陸上競技長距離強化事業			332-102-64	社会教育課	250	0	3,162	高	○	↗	
独自	陸上競技の普及・底辺拡大(競技者)と県ジュニア駅伝大会において上位入賞を果たすことを目的とする。		新庄ハーフマラソン大会の参加者数(人)	284	300	230	0	4,269	ユニフォームの更新が必要。				
一般会計	県市町村対抗ジュニア駅伝大会の新庄市チーム(男女)順位・上位順位の方			13	5	286	0	3,406					
1	03	(社)山形県スポーツ振興21世紀協会負担金			332-103-64	社会教育課	1,064	0	237	低	○	⇒	
独自	県内の一流選手の活躍と彼らとのふれあいによって、県民(市民)のスポーツ振興を図る。		協会歳出決算(百万円)	203	1,754	1,064	0	316					
一般会計	都道府県対抗女子駅伝大会の山形県チーム順位(位)			44	10	1,064	0	310					
1	04	トップアスリート招聘事業			332-104-64	社会教育課	1,000	1,000	3,764	高	○	⇒	
独自	新庄(最上管内)のジュニアアスリートの競技力(及び指導者の指導力)を高め、地域全体における競技スポーツの活性化及び底上げを図る。		実施回数(回)	-	-	0	0	0	助成金の採択を今後も受けられるかどうか。定住自立圏形成協定における連携事業として実施継続できるか、協定の見直しと合わせて協議・検討を重ねていく。				
一般会計			参加者数(人)	-	-	0	0	0					
2	01	スポーツ指導者活用事業			332-201-64	社会教育課	500	0	1,897	高	○	↗	⇒
独自	スポーツ基本法で設置が義務付けられているスポーツ推進委員の指導力を向上させ、市民スポーツの普及振興を図る。		研修会への参加数と独自研修会の開催数(回)	20	12	481	0	1,818	推進委員の人数も増え、地域における軽スポーツ教室の開催や講師として依頼されるケースが増えてきている。				
一般会計			県研修会等の受講者数(人)	25	50	449	0	2,942					

	事業費	特定財源	人件費
H30予算(単位:千円)	11,774	6,912	13,250
H29決算(単位:千円)	7,895	4,025	11,779
H28決算(単位:千円)	10,531	5,836	10,219

	1次	2次
↗	2	1
⇒	3	4
▽	0	0
×	0	0
合計	5	5